

系統豚「トチギL」の組合せ試験

当場では系統豚「トチギL」の配付を始めた平成5年度から、優れた三元交雑肉豚生産のために、「トチギL」と相性の良い雄系系統豚の組合せを選定する試験を実施してきました。これまで大ヨークシャー種について5系統、デュロック種について3系統の調査を行い、推奨系統が決定しましたのでお知らせしたいと思います。同じ品種の中でも体型や繁殖性 産肉性などの能力に差がみられ、導入ルートも含めて総合的に判断した結果、大ヨークシャー種はイフテハヤチネW(岩手)及びゼンノーW-01(全農)、ゼンノーW-02(全農)の3系統、デュロック種はサクラ201(国)、サクラ203(国)及びゼンノーD-01(全農)の3系統を推奨することとしました。これら3×3=9種類の組合せで交配することにより、斉一性のある発育性 産肉性に優れた三元交雑肉豚～とちぎLaLaポーク～を生産することが可能となります。

<推奨する交配方式>

L	W	D
トチギL	イフテハヤチネW	サクラ201
	ゼンノーW-01	サクラ203
	ゼンノーW-02	ゼンノーD-01

	繁殖性	発育性	産肉性	特徴
イフテハヤチネW	○			生産頭数が多い
ゼンノーW-01	○			子豚の増体に優れる
ゼンノーW-02	◎			生産頭数が多い
サクラ201		○	◎	コース断面積が大きい
サクラ203		○	○	枝肉歩留に優れる
ゼンノーD-01		◎	○	発育に優れる

(中小家畜研究室 小池達也)



畜産試験場だより No.26

平成16年3月31日発行

栃木県畜産試験場

〒321-3303

芳賀郡芳賀町稲毛田 1917

028-677-0301